

「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」平成 29 年度県民大会

平成 30 年 2 月 20 日(火) 三重県庁講堂および正面駐車場

1 概要

県では、県民・事業者・市町等の皆さんと力を合わせて防犯・交通安全を推進する、「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」のキックオフから1年の節目を迎える平成 30 年 2 月 20 日に県民大会を開催し、日頃から地域の防犯・交通安全のために活動いただいている県民の皆さんや市町担当者など、あわせて約 150 名の方にご参加いただきました。

当日は、県民や事業者の皆さんによって展開されたさまざまなアクションの紹介とともに、県民の皆さん等と今後の方向性を共有し、「犯罪や交通事故のない、安全で安心な三重」実現に向けて、『オール三重』で防犯・交通安全活動に取り組んでいく決意を県民の皆さんとともに確認しました。

2 開催結果

県民大会の内容は、以下のとおりでした。

～第1部～

(1)主催者あいさつ [14:05-14:10]

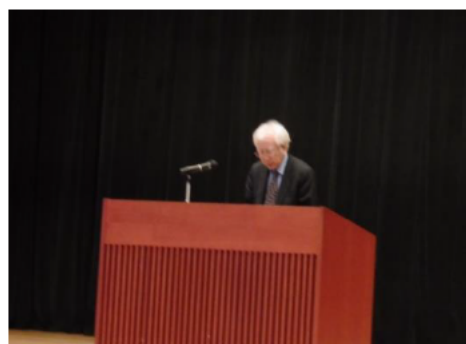
鈴木英敬知事から、「アクションプログラムは、防犯や交通安全について、県民や事業者の皆さんと心を一つにして、オール三重で取り組んでいく計画である。防犯や交通安全の取組は、地域の絆によって、地域力を高めていく活動そのものであることを認識して、今後も活動されることをお願いしたい」旨のあいさつがありました。

(2)来賓祝辞 [14:10-14:20]

①上野達彦氏(犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議会長)より「幸福実感日本一の三重を実現するためにも、県民が一丸となって犯罪や交通被害者を減らし、これらをなくす努力を積み重ねなければならぬ」旨のご祝辞をいただきました。



(1)主催者あいさつ(鈴木知事)



(2)①来賓祝辞(上野氏)

②岩崎恭典氏(四日市大学学長)より「地域の安全安心の確保は重要であるが、どうしても私達は警察や行政に頼りがちである。高齢者や子ども達のように、安全安心が最も重要な人達を、さりげなく日常の中で助け合う社会を作っていくことが、地域力を高める第一歩だと思う」旨のご祝辞をいただきました。

(3)「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」平成29年度の総括[14:20-14:35]

環境生活部くらし・交通安全課担当者からスクリーンを用いて、アクションプログラムの成果と課題を踏まえた平成29年度の総括や、県内のさまざまなアクション(防犯・交通安全活動)の説明を行いました。

(4)パネルディスカッション[14:35-15:40]

四日市大学岩崎学長のコーディネートのもと、県民・事業者・若者・女性それぞれの分野でご活躍する方によるパネルディスカッションを実施し、「地域の防犯・交通安全活動をさらなる広がりへと」繋げていくために求められることや、日々の活動におけるさまざまなアイデア、来場者へ伝えたいメッセージなどをいただきました。

【主なご発言】

○防犯パトロールボランティア熊野子ども見守り隊

隊長 徳本 勇氏(県民代表)

『市町の垣根を越えて、子ども達が忘れないような思い出をつくりながら、今後に繋げていきたい』

○株式会社デンソー大安製作所総務人事厚生課担当課長 林 辛介氏(事業者代表)

『企業としては、防犯や交通安全に役立つ製品を、より安い値段で提供できるよう努力していきたい』

○四日市大学地域パトロール部

部長 松岡 宏亮氏(若者代表)

『自分の身だけでなく、自分達のまちも守ろうと、地域ぐるみで防犯活動に取り組んでほしい』

○ライブリーシティ自主防犯委員会

代表 山本 志保氏(女性代表)

『犯罪時等にすぐに助けてくれるのは地域の方々。防犯等に無関心な方は話し合うことから始めてほしい』



(2)②来賓祝辞(岩崎氏)



(3)アクションプログラムの総括



(4)パネルディスカッション

～第2部～

(5)三重県警察音楽隊の皆さんによるパフォーマンス
[15:55-16:20]

三重県警察音楽隊の皆さんから、親しみのある曲目の演奏と「オレオレ詐欺」等の特殊詐欺被害防止を啓発する寸劇などが披露されました。



(5)警察音楽隊のパフォーマンス

(6)大会宣言 [16:25-16:35]

今年度4地区で開催したアクションプログラム推進座談会参加者のうち4名の県民・事業者の方が代表して、「私たちが自らアクションを起こすとともに、県と市町、警察などさまざまな主体が力を一つにし、日本で一番安全で安心な三重をめざして、『オール三重』で防犯・交通安全の活動に取り組んでいく」旨の大会宣言を読み上げました。



(6)大会宣言

(7)安全安心まちづくり出発式 [16:40-16:50]

県庁正面駐車場において、ご参加の皆さんの「安全で安心な三重のまちづくり、出発！」の掛け声を合図に、白バイ2台の先導により、県内の地域で活躍する青色回転灯装備車両(青パト)6台と県交通安全協会の広報車1台が勇ましく出発し、閉会となりました。



(7)安全安心まちづくり出発式

※会場内では、NPO 法人三重県防犯設備協会、一般財団法人三重県交通安全協会、公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター、津市の提供による防犯・交通安全・犯罪被害者等支援にかかる展示を行いました。

3 まとめ

アクションプログラムのキックオフから1年の節目を迎える今回の大会では、地域でアクション(防犯・交通安全活動)を起こしていただいている県民・事業者の皆さんをはじめ、市町、警察、関係団体等さまざまな主体からのご参加をいただきました。

大会では、さまざまなアクションの紹介、県民・事業者・若者・女性を代表するパネリストの方によるメッセージ、

今後の方向性の共有などを行うとともに、まさにアクションプログラムの目指す「県民力でつくる犯罪や交通事故のない安全で安心な三重」の実現に向けて、『オール三重』で防犯・交通安全活動に取り組んでいく決意を県民の皆さんとともに確認しました。

この決意を県民の皆さん等と共有しながら、さらなる安全で安心な三重の実現に繋げていくため、今後も、アクションプログラムに基づき、県民や事業者の皆さん、市町、警察などさまざまな主体との協創による防犯・交通安全活動の促進が図られるよう努めていきます。



会場内での展示の様子